

あゆみだより

今年度の本園のうれしいニュースのひとつに、「24時間テレビから Baby Loco (ベビーロコ) の寄贈」がありました。Baby Loco はハイハイの時期から使える自分で動くことができる道具です。自分の意志で動くことは基本的人権のひとつですが、子どもにとって一人での移動はとても重要な意味があります。自分の体を知ること、他人への働きかけや他人とのやりとり、社会性の発達…に自分の意志で動くことが大きな影響を与えます。Baby Loco を活用して、子どもたちが楽しく体を動かすことができるようお手伝いをしていきたいと思っております。

新しい年が子どもたちや皆様にとって希望の年となることを願っています。 園長 杉浦伸枝

の予定

- 4日:療育始め
- 12日:午前 保護者勉強会
(アンケート結果報告)
- 13日:岡村 Dr.
- 20日:誕生会・竹村歯科医
- 23日:防災訓練
- 24日:ぞら組分離

職員出張

- 11日(水) 増井(田原) 午後
- 19日(木) 水野(オンライン) 午後
- 24日(火) 久保(田原) 一日
- 25日(水) 水野(蒲郡) 一日



外来保育

6日(金) 10日(火) 18日(水)
26日(木) 31日(火)
10:30~11:30
寒い日が続くので体温調節し
やすい服装にてお願いします。



1月うまれのおともだち

7日 うめかさん 4さい
28日 きょうかさん 3さい
30日 いぶきくん 5さい
おめでとうございます!



口腔ケアについて

皆さん「口腔ケア」というとどんなことを思い浮かべるでしょうか？ほとんどの方が「はみがき」を想像するのではないかと思います。これは「汚れを落として口腔内を清潔にし、虫歯や歯周病を予防する」という「器質的口腔ケア」になります。これとあわせて、口腔内や口腔周囲の筋に働きかける「機能的口腔ケア」も重要になります。「お口が育ってくると身体も育つ」と言われるくらい、お口の機能面に働きかけることが大切です。そんな「口腔ケア」についてまとめてみました。

1. 歯磨きについて

歯磨きをとても嫌がる子があります。特に上の歯は下の歯よりも嫌がる子が多いので、そういう場合はできるだけ下の歯からすすめるとよいでしょう。それでも嫌がる場合は手や足をギュッギュッとカウントにあわせて握りながら感覚への意識をお口以外のところに逃がしてあげましょう。カウントすることで終わりの見通しも持ちやすくなります。歩けるようになったお子さんは歯ブラシを持って立ち歩きたくなってしまいがちですが、必ず大人が着き、座って磨くように促していきましょう。

2. お口の体操について

当園で行っている「おくちの体操」はぜひご家庭でも取り組んでみてください。すべてやるのが難しい場合はどこか一部分だけでも取り入れていくとよいです。舌の動きを引き出したいお子さんは顎の下の柔らかい部分を上に押し上げるマッサージを、食べ物を取り込む時に口唇を上手に閉じられないお子さんは口唇のストレッチやタッピングを、お口に食べ物をため込みやすいお子さんは口腔内を中心に組み込んでいただければと思います。

3. よだれについて

普段からよだれが多いお子さんはできるだけ大人と一緒に拭く練習をしていきましょう。自分で拭ける場合はタオルを渡して拭くよう促していきます。また、何かに集中している時に下顎から支えて口唇を閉じさせ、鼻呼吸を意識するように促していきましょう。普段から口を開けていることが多いお子さんも同様の対応を心掛け、食事前や歯磨きの際にお口の周りをタッピングするなど口腔周囲の筋を刺激するような関わりをしていきましょう。

お口の機能は数週間・数ヶ月ではなかなか変化はみられず、時には数年単位の取り組みが必要になることもあります。無理なく、継続的な関わりが持てるようにしていけるといいですね。

